

TOSHIBA 東芝蛍光灯ペンダント取扱説明書 保管用

- このたびは東芝蛍光灯ペンダントをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めの東芝蛍光灯ペンダントを正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
- お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

お客様へ

- ・天井に引掛シーリングボディがついていない場合は電気工事店に取り付けを依頼してください。
- ・素人工事は法律で禁じられています。
- ・引掛シーリングボディが天井に工事されていれば器具はそのまま取り付けられます。

工事店様へ

- ・工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。

■安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損傷を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

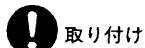
■工事店様・お客様へ

器具取り付けの際のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

- 器具の取り付けは本体表示並びに取扱説明書に従って行ってください。取り付けに不備があると、落下、感電、火災の原因となります。
- この器具は、天井の丈夫なところに取り付けてください。薄い天井面、弱い天井面等に取り付けますと、ねじ止めが弱く落下の原因となります。



取り付け



- 器具を分解や改造したり部品を変更して使用しないでください。器具落下感電、火災の原因となります。



改造



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 交流100V以外の電圧で使用しないでください。間違えて器具に過電圧を印加した場合、ランプ、器具の寿命が短くなったり、過熱による火災の原因になります。



電源電圧

- この器具は非防水です。屋外や湿気の多い場所で使用しないでください。感電、火災、絶縁不良の原因となります。

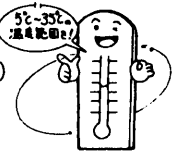


湿度

- 暖房器具、ガス器具等の真上、付近等の温度の高い場所では使用しないでください。火災、感電の原因となります。(この器具は5～35℃の温度範囲で使用するように設計してあります。)



温度



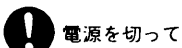
■お客様へ

使用上のご注意

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

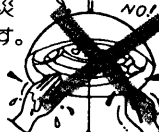
- ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。



電源を切って



- 器具を濡れた手で触ったり、器具の隙間や放熱穴等に金属物等を差し込まないでください。感電、火災の原因となります。



- 紙や布などを器具にかぶせたり、近くに置いたりして使用しないでください。火災の原因となります。



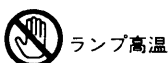
可燃物



⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。

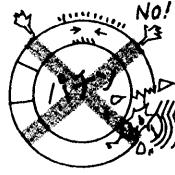
- 点灯中及び消灯直後は、ランプ及び器具が高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。



ランプ高温



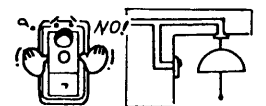
- ランプホルダーを強くはじかないでください。ランプの破損、落下の原因となります。



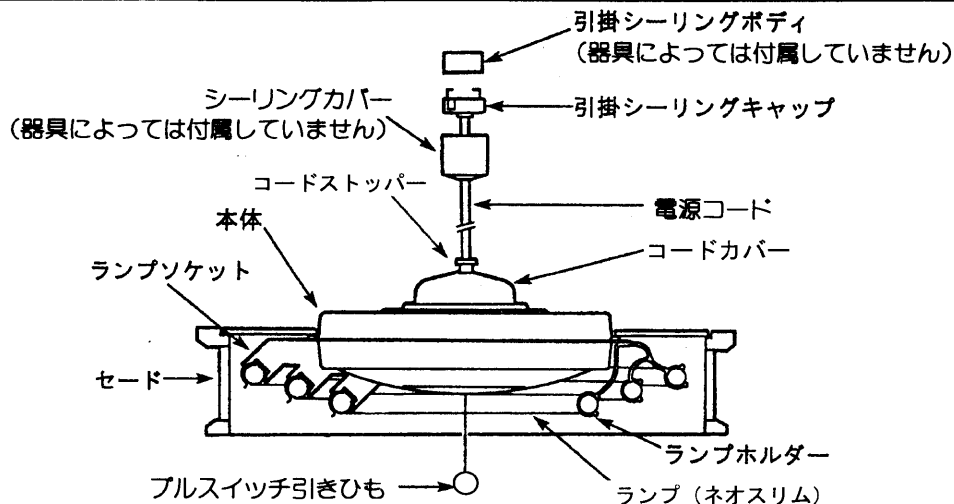
- スイッチの引きひもを器具やランプにからませないでください。また、引きひもを強く引いたり、はじいたりしないでください。ランプ、器具の破損、落下の原因となります。

- この照明器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用されますと雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。

- 調光器(当社商品名コントロールクスなど)による調光使用はできません。調光器が取り付けられている配線でこの器具をご使用になりますと、器具やランプが短寿命となります。



■各部のなまえ



ネオスリムV

インバーター 高調波ガイドライン適合品

●この取扱説明書は同種類の器具と共通になっておりますのでお求めの器具と姿図が違っている場合があります。

■器具を取り付ける前に……まず確認してください

●引掛シーリングを確認してください

■1. 器具を取り付ける天井面に下図のような引掛シーリングが取り付けられているか確認してください。



警告

この器具は、下図以外の引掛シーリングには取り付けないでください。落下の原因となります。



埋込引掛シーリング



角形引掛シーリング



丸形引掛シーリング

2. 引掛シーリングがグラグラしないか、また、欠けたりヒビが入ったりしていないか確認してください。

3. ●グラグラするようであれば、木ねじやビスをしっかりと締め込んでください。

●欠けたりヒビが入っている場合は付属の引掛シーリングにお取り替えください。

(電気工事店様に依頼してください。)



■引掛シーリングが取り付けいていない場合は、付属の引掛シーリングの取り付けを電気工事店様に依頼してください。

※一般の方の電気工事は法律で禁じられております。

■引掛シーリングは、天井内の補強材のある位置に取り付けてください。

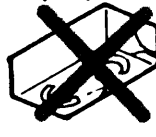
取り付けできない引掛シーリングの例

……誤って取り付けると落下の原因となります。

●電源端子露出形引掛シーリング



●破損している引掛シーリング



■器具の使いかた

1. ランプがソケットに確実に取り付けられているか確認してください。ゆるんでいると点灯しません。

2. ブルスイッチ引きひもを引きますと次の順序で切り換えられます。

ブルスイッチ引きひもはゆっくり引いてください。

全光点灯
(明るさ100%)

調光点灯
(節電調光)

常夜灯点灯

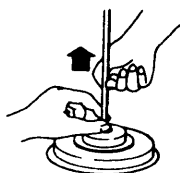
消灯

■器具の取り付けかた

1. コード長さの調節方法

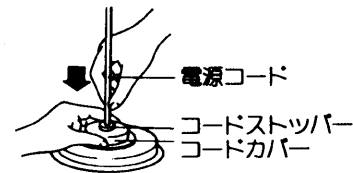
長くするとき

コードストッパーを押しながら電源コードを引き出し、所定の長さになったらコードストッパーを引き上げてください。



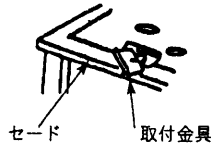
短くするとき

電源コードをコードカバー内に押し込んで、所定の長さになったらコードストッパーを引き上げてください。



2. セードの取付方法

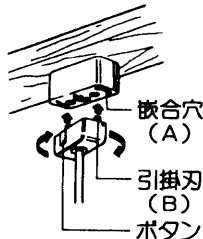
- 電源コードをセード中央穴に通し、セードを本体にのせてください。
 - 付属に飾りセード等がある場合も、同様にセードにのせます。
- ※セードと天板が別になる器具もあります。
別になるものは天板をはずしてください。
電源コードを天板中央穴に通し、セードに天板を乗せてください。
取付金具を回して天板を確実に取り付けてください。



3. 器具の取付・取りはずし方法

取付方法

- 引掛シーリングボディの嵌合穴(A)に引掛刃(B)を挿入し、止まるまで右方向にまわしてください。
器具の取り付けと同時に電氣的にも接続されます。



取りはずし方法

- ボタンを押し、そのまま左方向へまわしてください。

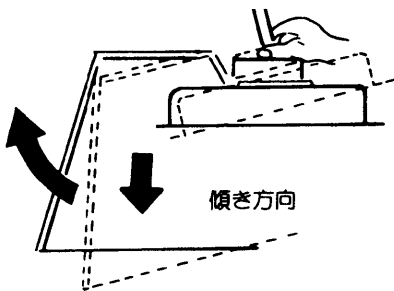
シーリングカバーの取付

- シーリングカバーを押し上げ天井に密着させてください。
(シーリングカバーのない器具もあります)



万一器具が傾いた場合

- ランプ位置が本体の中央に取り付けられているか確認してください。
- コードストッパー部分の電源コードを傾き側を上げるように曲げることで調整できます。



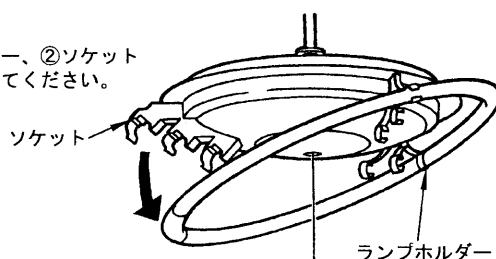
● ランプ交換について

取りはずし方法

- ①ソケット、②ランプホルダーの順で取りはずしてください。

取付方法

- ①ランプホルダー、②ソケットの順で取り付けてください。

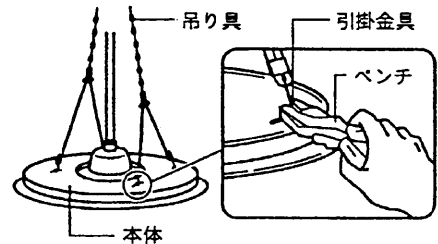


- 蛍光ランプの口金のピンにランプソケットを確実に差し込んでください。蛍光ランプの口金は多少動くように作っていますが、無理に回さないでください。

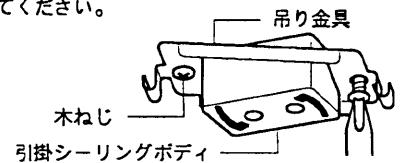
3. 器具の取付・取りはずし方法(チェーン吊の場合)

取付方法

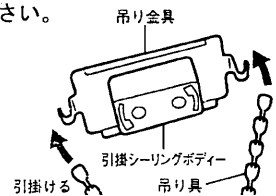
- 吊り具を本体に取り付けてください。
この際、吊り具の引掛金具の先端をペンチなどで曲げ、本体から外れないようにしてください。



吊り金具を、天井面に取り付けられている引掛シーリングボディに合わせ、補強材のある位置に木ネジで固定してください。



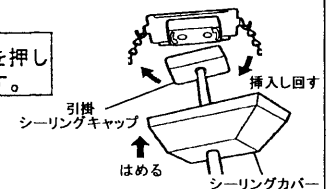
- 吊り金具に吊り具を引掛けてください。



器具を天井面の引掛シーリングボディに取り付けてください。

- 引掛シーリングボディのかん合穴に引掛シーリングキャップの引掛刃を挿入し、止まるまで右方向に回してください。

本体のはずしかた
引掛シーリングキャップのボタンを押しながら、そのまま左方向に回します。



シーリングカバーを吊り金具に取り付けてください。

シーリングカバーを吊り金具に取り付けてください。

- シーリングカバーを吊り金具のかん合穴にはめ込んで、天井面に密着させてください。

● 吊り具の調整のしかた

- ① 器具の取り付け高さの調節は、吊り具のチェーンの引掛け位置で調節してください。
- ② 器具の傾きは、吊り具のひも部分を持って左右に動かして、器具が水平になるように調節してください。
- ③ 吊り具の微調整は、吊り具のリングを上下させて調節してください。
高くする場合はリングを下に、低くする場合は上に移動させます。

※器具によっては、①だけの場合もあります。

